

## 随意契約結果及び契約の内容

業 務 の 名 称	令和5年度八代港大築島土砂処分場施工検討業務
業 務 概 要	業務計画 計画準備 1式 施工方法の検討 資料収集・整理 1式 現地踏査 1式 現況特性の分析・把握 1式 現地施工における課題の抽出・整理 1式 土留工の施工手順の検討 1式 土砂投入方法の検討 1式 汚濁防止膜の検討 1式 土砂受入状況の把握手法の提案 1式 土砂投入時の濁りの検討 1式 施工工程の検討 1式 事業実施上の課題の抽出・整理 1式 概算工事費の算定 1式 協議・報告 4回 照 査 1式 成果物 業務完成図書作成 1式
契約担当官等の氏名並びにその所属する部局の名称及び所在地	分任支出負担行為担当官 九州地方整備局 熊本港湾・空港整備事務所長 宮本 由郎 熊本県熊本市川尻2-8-61
契 約 年 月 日	令和5年9月12日
契 約 業 者 名	(一財)港湾空港総合技術センター
契 約 業 者 の 住 所	東京都千代田区霞が関3-3-1
契 約 金 額	20,020,000円(税込み)
予 定 価 格	20,042,000円(税込み)
随意契約によることとした理由	本業務を実施するにあたり、関連する護岸整備の進捗状況を考慮し、効率的かつ安全な土砂投入方法及び環境に配慮した最適な施工方法を検討するという総合的な知見及び専門的技術力が必要となるため、受注業者に対しては、1. 予定技術者の経験および能力（技術者資格、業務執行技術力等）、2. 適切な業務実施方針（業務理解度、業務実施手順等）、3. 特定テーマに対する技術提案（的確性、実現性）等の観点からプロポーザルの提出を求めたものである。 建設コンサルタント等の特定手続きに基づく審査の結果、一般財団法人港湾空港総合技術センターが最適であると判断されることから、上記業者と会計法第29条の3第4項に基づき随意契約を行い業務の円滑な遂行を図るものとする。
業 務 場 所	—
業 種 区 分	建設コンサルタント等
履 行 期 間 （ 自 ）	令和5年9月12日
履 行 期 間 （ 至 ）	令和6年1月31日
備 考	